



発売開始に詰め掛ける町民

4月20日、八峰町プレミアム付商品券「プレミアム付商品券」発売開始
八峰白神商工会
発売に先立ち八峰白神商工会前で式典が行われ、大森商工会長、加藤町長、阿部町議会議長のあいさつがあり、その後テープカットが行われました。また式典では抽選会も行われ、ご来場の皆様は大いに盛り上がりしました。
同商品券は、額面1,000円の商品券12枚綴りを1冊10,000円で販売しているため、一冊あたり2,000円お得となっています。
発売期間及び利用期間は平成21年10月19日までですが、完売した時点で発売完了となりますので、まだ購入していない方は検討してはいかがでしょうか。

八峰白神商工会
「プレミアム付商品券」
発売開始



元気に帰ってきてね!

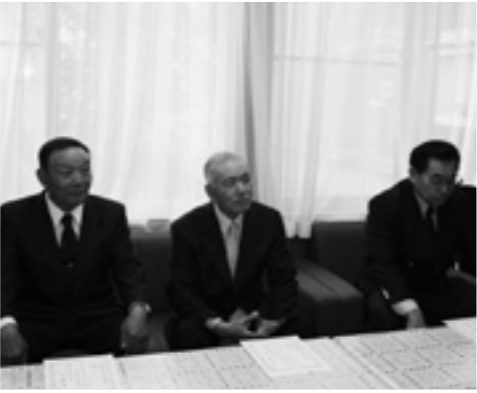
4月9日、八峰町少年水産教室「サケの稚魚放流」が真瀬川河口付近で行われ、町内3小学校の4年生が参加しました。この教室は子どもたちに魚の生態や水産業に興味を深めてもらい、漁業や水産業の後継者育成につなげようと毎年開催しているもので、今年は5〜6センチメートルほどの稚魚約10万匹を放流しました。
教室では、「サケは3〜4年後に同じ川に帰ってくる」などのサケの習性について学習したあと、子どもたち一人ひとりに稚魚が入ったバケツが手渡され、一斉に川へ放しました。子どもたちは稚魚が泳いでいく姿を見送りながら、「元気に帰ってきてね。」と声をかけていました。

元気に帰ってきてね
少年水産教室
サケの稚魚を放流

4月11日「キノコの植菌体験教室」がぶなつこランドで行われ、町内外から親子連れを中心に50人が参加しました。この教室はキノコの生産過程を知ってもらおうと山本地域振興局農林部と白神ネイチャー協会などの協力を得て毎年行われているもので、今年で19回目となります。
教室では、電気ドリルで穴を開けたホダ木約300本にシイタケとナメコの菌のコマを打つ作業が行われ、参加者たちは「トントン」とリズムカルな音を響かせていました。
作業が終わると、参加者一人ひとりに昨年のこの教室で植菌したホダ木がプレゼントされ、思い出に残る体験をしたようです。

4月21日、八峰町自衛官募集相談員委嘱状交付式が八森庁舎で行われ、3名の方に委嘱状が交付されました。
同相談員は自衛隊への入隊希望者の紹介や対象者情報の提供のほか、本人や家族へ直接説明や勧誘を行う自衛官募集事務を行うため、町長と自衛隊秋田地方協力本部長の連盟で委嘱されています。
なお、任期は平成21年4月1日から平成23年3月31日までの2カ年です。
委嘱を受けたのは次の3名の方です。写真右から(敬称略)
●小林 光男 (沼田)
●北川 和雄 (石川)
●大黒 金之 (古屋敷)

自衛官募集相談員
委嘱状交付式



委嘱された3名の方々



コマを打つ音が響いていました

トントンとリズムカルな音を響かせた
キノコの植菌体験教室

平成20年度消防庁長官定例表彰において、八峰町消防団副団長の本多健さん(内荒巻)が永年勤続功労章を受章されました。
本多さんは、消防の重要性を認識し、昭和53年12月に峰浜村消防団第10分団の団員となり平成10年6月には同分団長に、平成14年6月には峰浜村消防副団長に就任し、八峰町となった現在も副団長を務めておられます。
今後も地域住民のために防災・防火活動において、更なるご活躍を期待しております。

北道を拠点に活動するプロレス団体「アジアンプロレスリング」が4月15日に八峰町文化ホールで、翌16日に峰栄館で開催されました。
試合は所属するレスラー7人により、シングルマッチ、タッグマッチ、レスラー取り乱れてのバトルロイヤルを会場ごとに5試合行われました。
ユーモアを交えながらも、華麗な「空中殺法」を披露したり、観客席を巻き込む「場外乱闘」を展開するなど見応え十分の対戦を繰り広げ、両日で訪れた約300人の観衆を楽しませてくれました。

本多健さん
永年勤続功労章を受章



出た「空中殺法」

4月19日、全町クリーンアップが実施されました。
午前5時半に地区ごとに集まった参加者たちは、道路や路肩などに落ちているゴミを手分けして拾い集め、地域の美化のために頑張りました。
すべての地区から集められたゴミは、年々少しずつは減少しているものの4トンを超えており、中には古タイヤや粗大ゴミもあり、参加者たちはゴミを不法投棄する人のマナーの悪さに心を痛めていました。
不法投棄は犯罪です。路肩や空き地等には絶対に捨てないでください。

空中殺法炸裂
アジアンプロレスin八峰

平成19年7月、八峰町全域を「白神の里八峰どぶろく特区」として国から認定を受けておりましたが、この度齊藤進さん(本館)が、「その他の醸造酒製造免許」を取得しました。
酒造免許を取得するためには、酒造所への酒類製造免許申請の手続きが必要で、製造場所確保や食品衛生法の許可のほか、濁酒製造研修など、かなりご難儀されたことと思います。
八峰町の新たな特産品として、どんな「どぶろく」が出来るのか今からとても楽しみです。

平成19年7月、八峰町全域を「白神の里八峰どぶろく特区」として国から認定を受けておりましたが、この度齊藤進さん(本館)が、「その他の醸造酒製造免許」を取得しました。
酒造免許を取得するためには、酒造所への酒類製造免許申請の手続きが必要で、製造場所確保や食品衛生法の許可のほか、濁酒製造研修など、かなりご難儀されたことと思います。
八峰町の新たな特産品として、どんな「どぶろく」が出来るのか今からとても楽しみです。

齊藤進さん
酒造免許を取得



酒造免許を取得した齊藤進さん



地域の美化に励みました

今年も大量のゴミが集められました
全町クリーンアップ実施